【FdData 中間期末:中学社会公民】

[知る権利]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[問題](2 学期中間改)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

国民が主権者として政治に参加するためには、国や地方公共団体のもつさまざまな情報を手に入れて分析することが重要である。1999年には(①)法が制定され、国や多くの地方公共団体で(①)制度が設けられてきた。このような情報を手に入れる権利を(②)という。

[解答]① 情報公開 ② 知る権利

[解説]

[知る権利]

国や地方公共団体の情報を知る権利情報公開制度、情報公開法

国民が主権者として政治に参加するため には、国や地方公共団体のもつさまざま な情報を手に入れることが必要である。 特に現代では、情報化の進展によって、 多くの重要な情報が国や地方の役所など に集まっているため,こうした情報を手 に入れる権利として、「知る権利」が認め られている。国や地方には情報公開制度 が設けられ,人々の請求に応じて情報を ^{かいこ} 開示している(国の情報公開制度は, 1999 年に制定された情報公開法に基づ いている)。情報公開制度は、政治の えるがまた。 秀明性を高め、公正な政治の実現に役立 っている。また、新聞やテレビなどの<u>マ</u>スメディアは、取材などによって情報を収集し、表現の自由に基づいて広く報道することで、国民の知る権利を支えている。

※出題頻度:「知る権利◎」「情報公開制 度○」「情報公開法○」

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 国民が主権者として政治に参加する ために、国や地方公共団体がもって いる情報を手に入れることができる 権利を何というか。
- (2) (1)の権利に基づき、国や地方公共団体で人々の請求に応じて、行政の保有する情報を開示する制度が設けられている。この制度を何というか。
- (3) 国の(2)の制度は 1999 年に制定された法律に基づいている。この法律は何か。
- (4) 情報の伝達について, 重要な社会的 使命を果たさなければならない新聞 やテレビなどを何というか。カタカナ6字で答えよ。
- [解答](1) 知る権利 (2) 情報公開制度
- (3) 情報公開法 (4) マスメディア

[問題](入試問題)

右図は、国の情報 公開のしくみを表し ている。情報公開制 度について述べた文 として正しいものを、 次のア〜エから1つ 選び、記号で答えよ。

開示請求があれ

開示請求 国の行う 通知 知開が 報査査 「特報査査 「特報査査」 「特報の表 「特報の表 「特報の表 「特報の表 「特報の表 「特報の表 「特報の表 「特別の表 「特別の。 「

ば、行政機関の長は必ず情報を開示 しなければならない。

- イ この制度は、「新しい人権」の 1 つ であり、「プライバシーの権利」を保 障するものである。
- ウ 行政機関の長が不開示という判断を した場合には、開示請求をした人は 不服を申し立てることができる。

エ この制度では、個人情報も原則的に 開示の対象となっている。

(鳥取県)

[解答]ウ

解説

アは誤り。行政機関の長は開示を不適当 と判断したときは不開示の決定を行うこ ともできる。

イは誤り。情報公開制度は「知る権利」 を保障するための制度である。

ウは正しい(問題の資料から判断できる)。 エは誤り。国の情報公開制度は国が国の 保有している情報について、開示請求に 応じることを義務づけたものである。個 人情報はプライバシーの権利の観点から も開示の対象外である。

[問題](前期期末)

次の資料は国民の「(A)権利」が認められたことを受けて制定された、国が国の保有している情報について、国民の開示請求に応じることを義務づけた法律の要点をまとめたものである。これについて、後の各問いに答えよ。

目的	国が保有する情報の公開に
	よって、国の行っている活動
	について、 <u>B国民に説明する</u>
	責任を果たす。
対 象	行政機関や独立行政法人
機関	
不 開	個人情報や財産権を侵害す
示に	るもの、国家に不利益をもた
なる	らすものなどは不開示とな
場合	る。

- (1) Aにあてはまる語句を答えよ。
- (2) この法律を何というか。
- (3) 資料の下線部 B にある,国に国民への説明する責任がある理由を,「国民」「主権者」「国や地方公共団体」の語句を使って説明せよ。

[解答](1) 知る (2) 情報公開法

(3) 国民が主権者として政治に参加する ためには、国や地方公共団体のもつさま ざまな情報を手に入れることが必要であるから。

【各ファイルへのリンク】 社会地理

[<u>世界 1</u>] [<u>世界 2</u>] [<u>日本 1</u>] [<u>日本 2</u>]

社会歴史

[古代] [中世] [近世] [近代] [現代]

社会公民

[現代社会] [人権] [三権] [経済]

理科1年

[光音力] [化学] [植物] [地学]

理科2年

[電気] [化学] [動物] [天気]

理科3年

[運動] [化学] [生殖] [天体] [環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】

この PDF ファイルは、FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。 製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800~2100ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」、「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」,編集に適した「問題解答一体形式」,暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので,目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格 社会地理,歴史,公民:各7,800円 理科1年,2年,3年:各7,800円 数学1年,2年,3年:各7,800円 ご注文は電話,メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは、Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】電話:092-811-0960

メール: info2@fdtext.com